

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本書は、サイドスカートの取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

本商品とカラードフェンダー、サイドドアガーニッシュを同時装着の場合は、サイドドアガーニッシュ、本商品、カラードフェンダーの順に取り付けて下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマーN-200、PACプライマーK-500を本品に添付)

(重要) プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

(重要) ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。

■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。

■両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)等で完全に拭き取って下さい。

■ボディコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)等で脱脂をきちんと行なって下さい。

(重要) ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)

(重要) ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

- サイドスカートが、車両に確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に**圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低24時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両とサイドスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

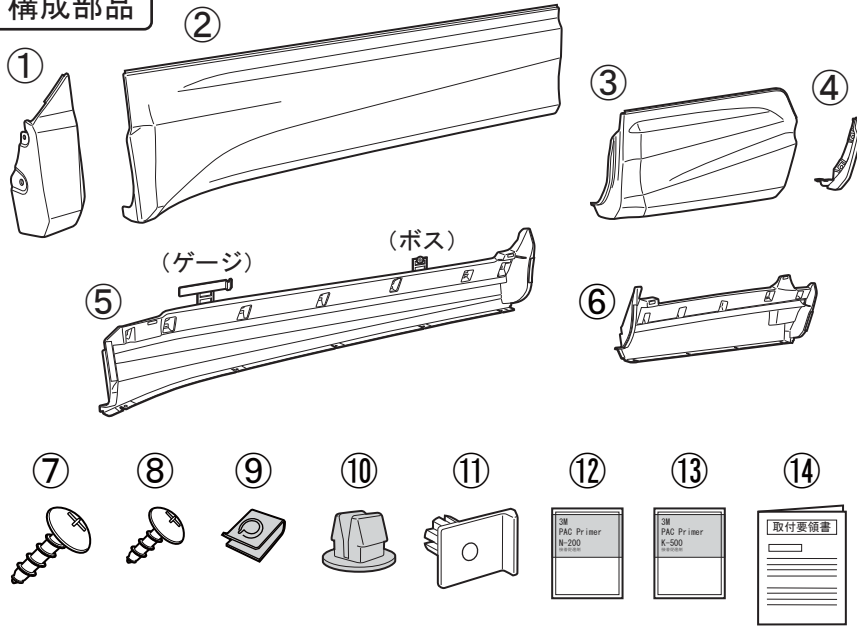


アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

加-ラクロス モデルスタ バージョン

サイドスカート (品番: MSD44-1600※)

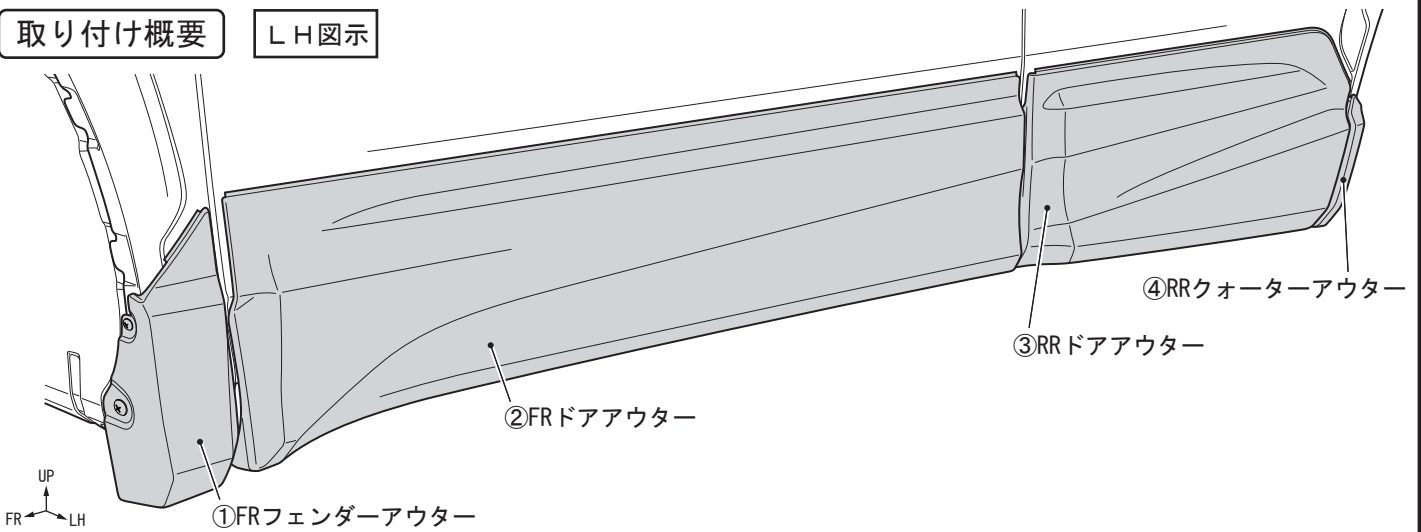
構成部品



| No. | 品名 | 個数 |
|-----|---------------------|----|
| ① | FRフェンダーアウター (RH/LH) | 各1 |
| ② | FRドアアウター (RH/LH) | 各1 |
| ③ | RRドアアウター (RH/LH) | 各1 |
| ④ | RRクォーターアウター (RH/LH) | 各1 |
| ⑤ | FRドアインナー (RH/LH) | 各1 |
| ⑥ | RRドアインナー (RH/LH) | 各1 |
| ⑦ | タッピングスクリュー (M6×16) | 8 |
| ⑧ | タッピングスクリュー (M4×12) | 20 |
| ⑨ | Uナット (M4) | 20 |
| ⑩ | グロメット (黒) | 2 |
| ⑪ | グロメット (白) | 4 |
| ⑫ | PACプライマー (N-200) | 1 |
| ⑬ | PACプライマー (K-500) | 1 |
| ⑭ | 取付要領書 | 1 |

取り付け概要

LH図示



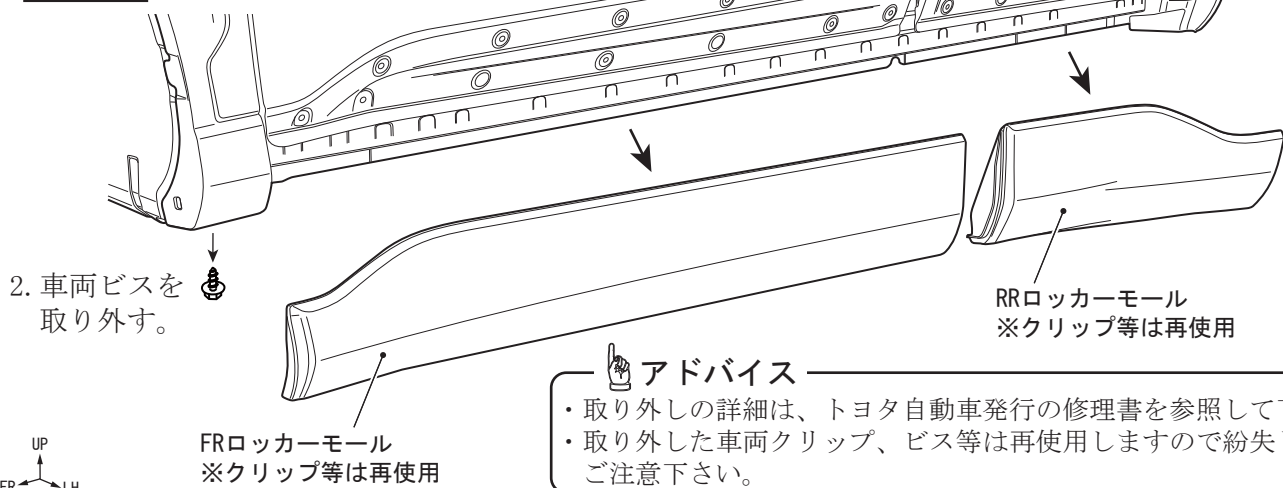
取り付け手順

※以下の手順はLH側を図示しています。RH側も同様に行ってください。

(1) 部品の取り外し

1. 車両からFR・RRロッカーモールを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に

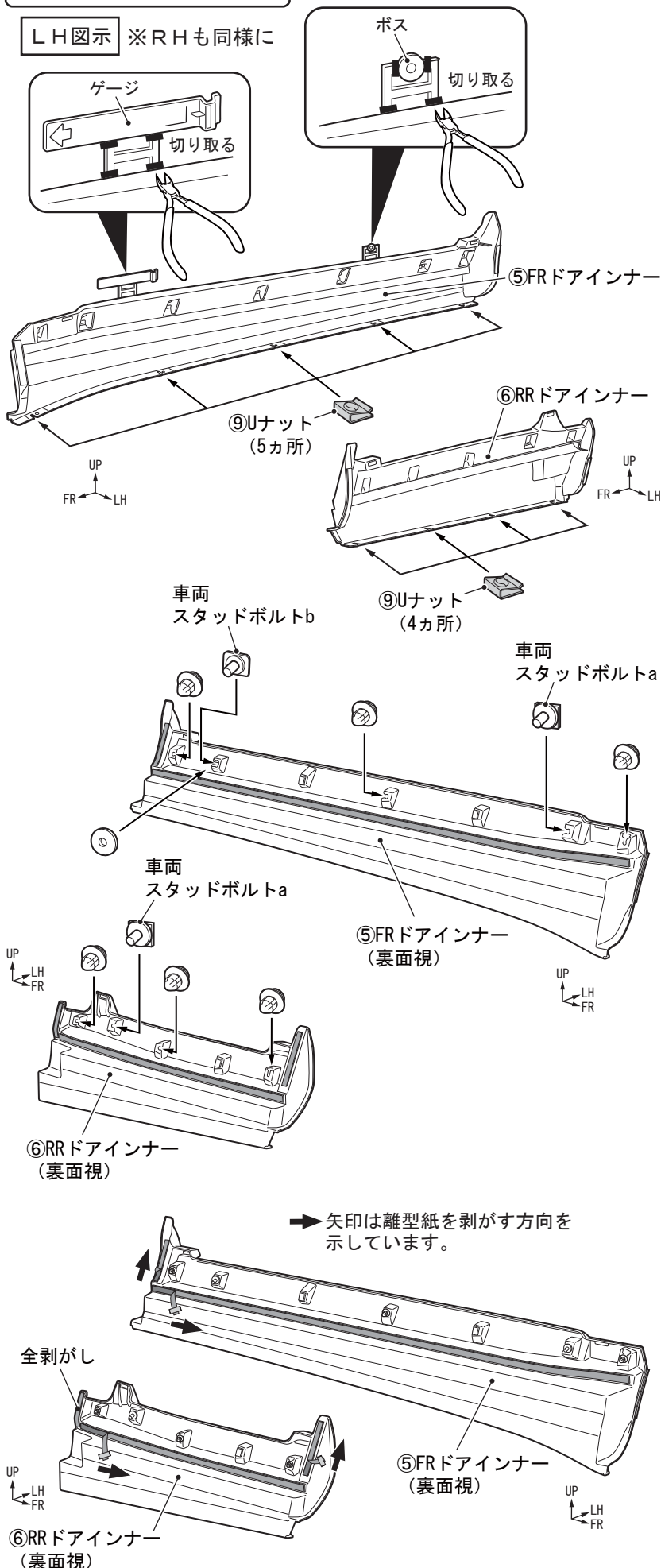


アドバイス

- ・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照して下さい。
- ・取り外した車両クリップ、ビス等は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。

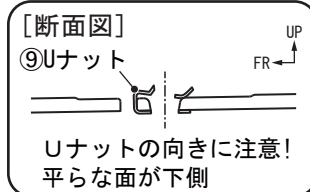
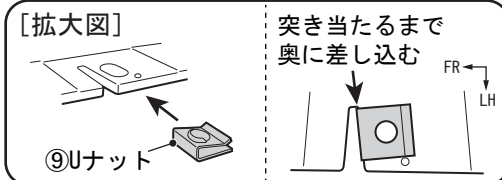
(2) インナーの取り付け

LH図示 ※RHも同様に

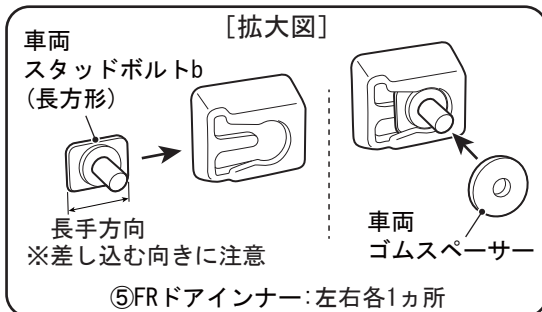
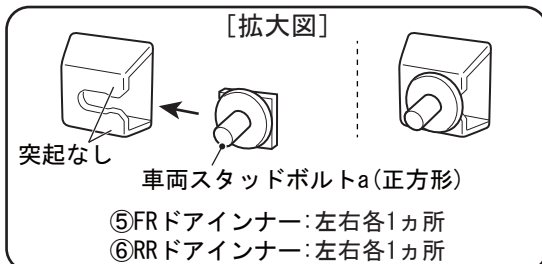
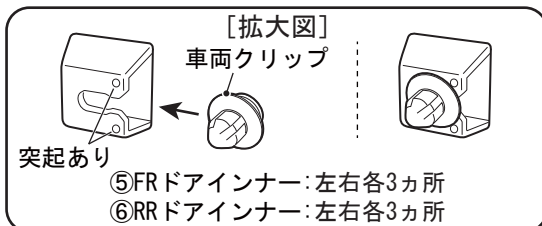


1. ⑤FRドアインナー上部のゲージとボスを左図太線の箇所、ニッパー等で切り取る。
 ※ゲージは取付高さの位置出しに、ボスは穴開けのガイドに、使用しますので紛失しないようご注意ください。

2. ⑤FRドアインナーと⑥RRドアインナーに⑨Uナットを取り付ける。
 (左図・下図参照)

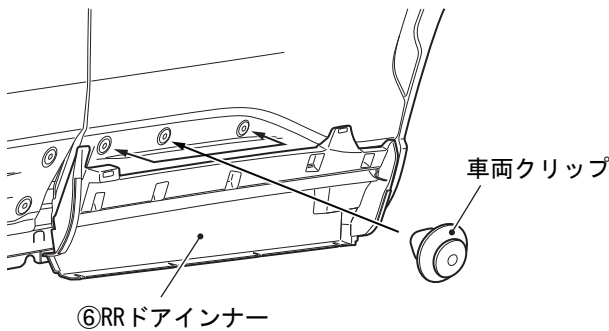
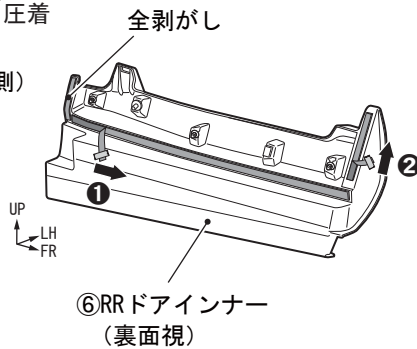
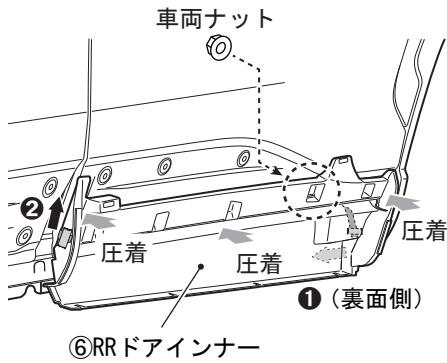
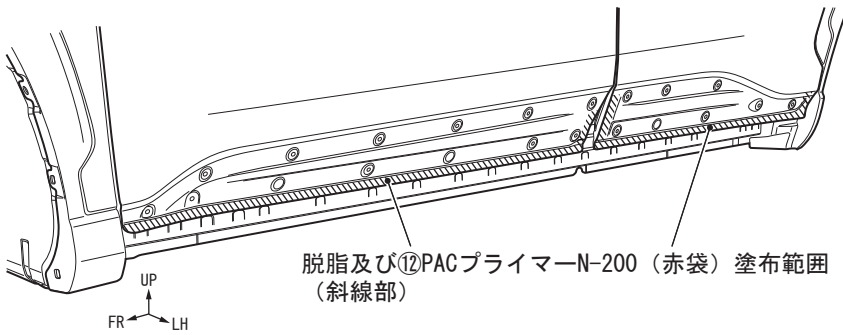


3. ⑤FRドアインナーと⑥RRドアインナーに車両クリップ、車両スタッドボルト、ゴムスペーサーを取り付ける。
 (左図・下図参照)



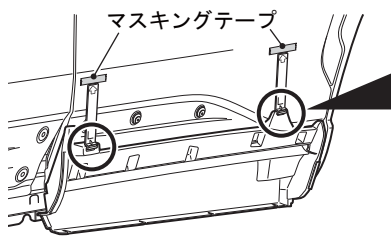
4. ⑤FRドアインナーと⑥RRドアインナーの裏面(車両側)の両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に



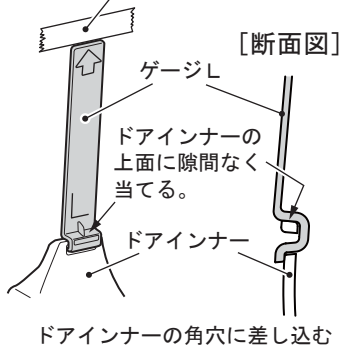
ドアアウターの高さ位置出し

ドアインナーから切り取ったゲージLで
取り付け高さの位置出し



※RHはゲージRで位置出しを行なう

ゲージの端末にマスキングテープ



5. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を一方向に拭いて脱脂し、⑫PACプライマー-N-200を塗布する。
(左図参照)

👉 アドバイス

- ・ PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ・ PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ PACプライマーは、必ず塗布部位によって使い分けてください。

■ 塗装部分 : N-200 (赤袋)

- ・ PACプライマーはアウター取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。

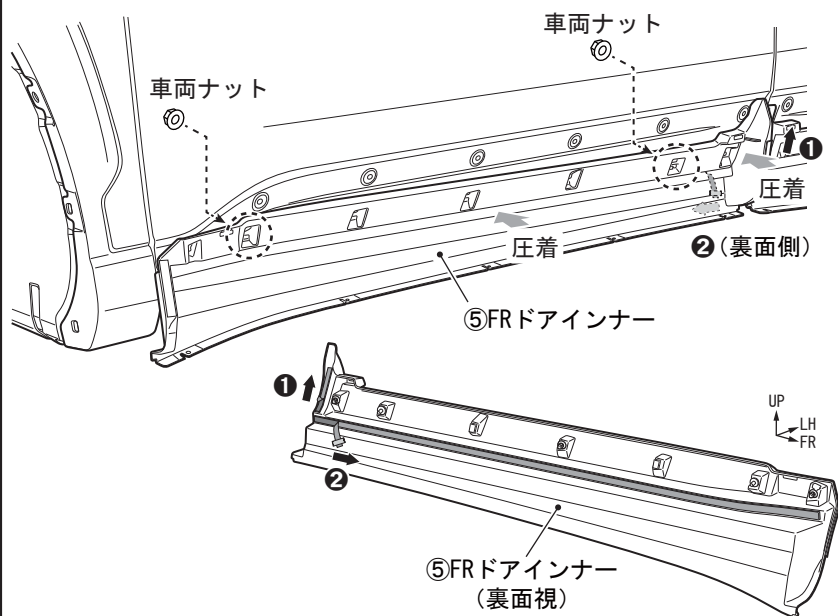
6. ⑥RRドアインナーを左図の様に、車両リヤドアに合わせ、⑥RRドアインナーに取り付けた車両クリップを嵌合させ車両スタッドボルトを、車両内側から車両ナットで仮締めする。
両面テープ離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き圧着し、ナットを本締めする。(左図参照)

※車両ホールプラグを復元して下さい。

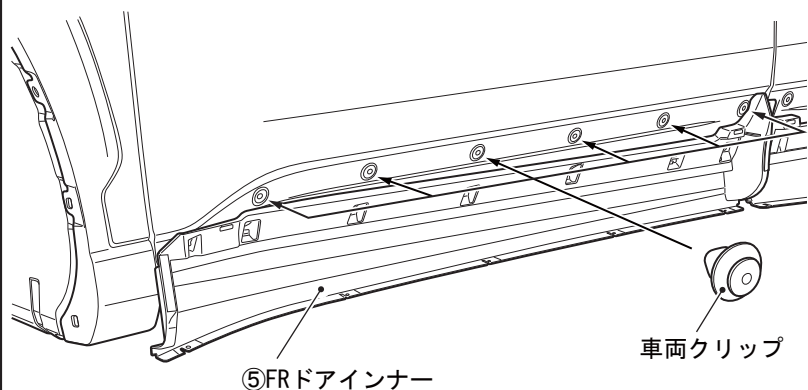
7. 使用しないクリップ取付穴に車両クリップを取り付ける。(3カ所)

8. ⑤FRドアインナー上部から切り取ったゲージLを左図○部の角穴に差し込み③RRドアアウター取り付け高さ位置出しの為に、マスキングテープを上端末に合わせ貼り付ける。

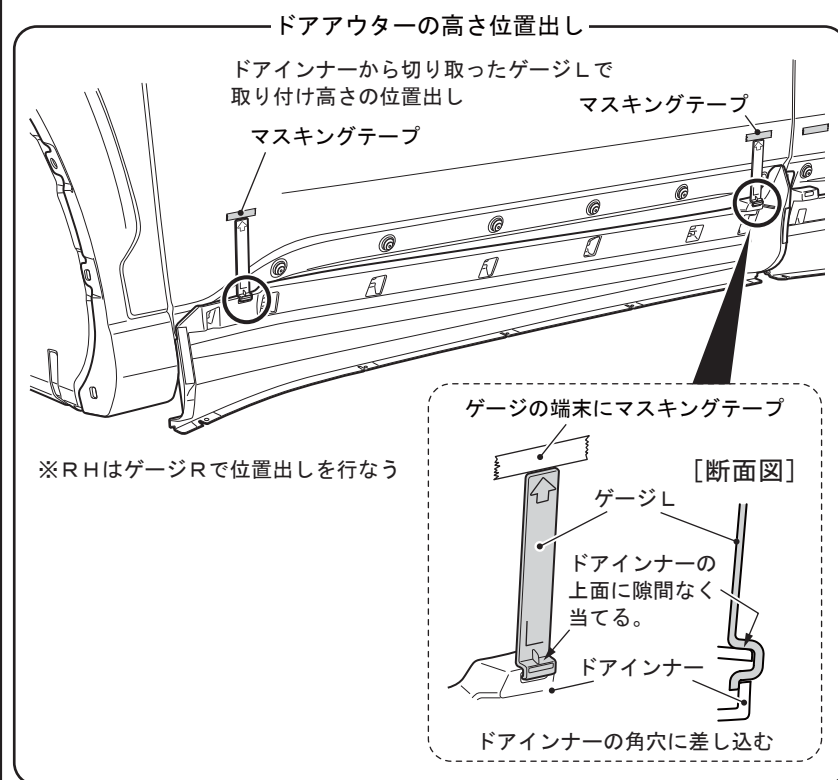
※一つのゲージで、一か所ずつ合わせて下さい。ゲージは②FRドアアウターの取り付け高さ位置出しにも使用します。紛失しないようご注意ください。



9. ⑤FRドアインナーを左図の様に、車両フロントドアに合わせ、クリップを嵌合させて、スタッドボルトを車両内側から車両ナットで仮締めする。両面テープ離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き圧着し、ナットを本締めする。(左図参照)
 ※車両ホールプラグを復元して下さい。



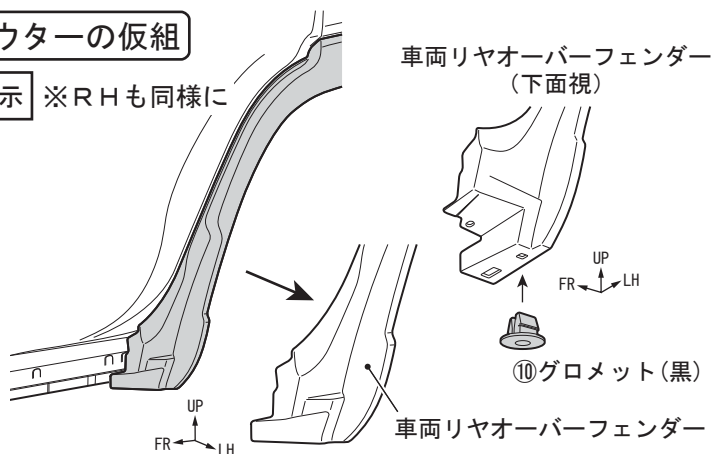
10. 使用しないクリップ取付穴に車両クリップを取り付ける。(6カ所)



11. ゲージLを左図○部の角穴に差し込み②FRドアアウター取り付け高さ位置出しの為に、マスキングテープを上端末に合わせ貼り付ける。
 ※一つのゲージで、一か所ずつ合わせて下さい。

(3) アウターの仮組

LH図示 ※RHも同様に



1. 車両からリヤオーバーフェンダーを取り外す。

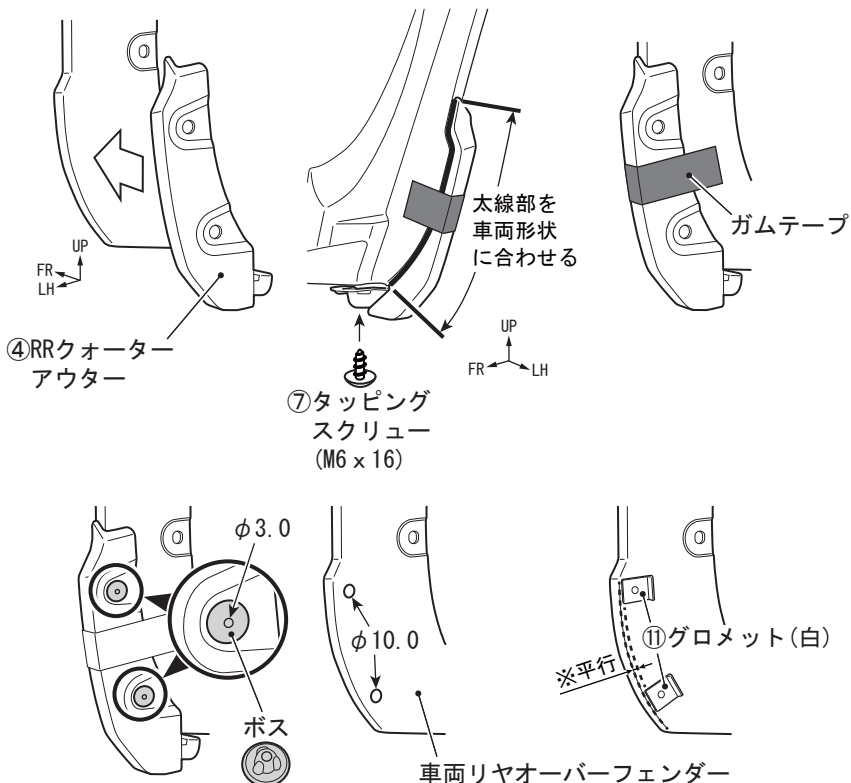
👉 アドバイス

- ・ 取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照して下さい。
- ・ 取り外した部品は、復元しますので紛失しない様ご注意ください。

2. リヤオーバーフェンダーの下面の角穴に⑩グロメット(黒)を挿入する。
(左図参照)

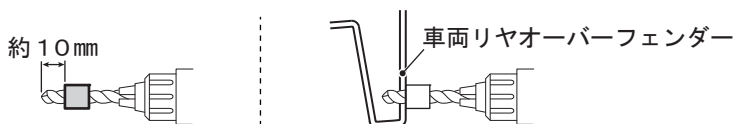
3. リヤオーバーフェンダーの形状に添わせて④RRクォーターアウターを被せ、左図の太線部を車両形状に合わせ、下面を⑦タッピングスクリュー(M6×16)で仮締めして、ガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

4. ④RRクォーターアウターのタイヤハウス面をリヤオーバーフェンダーに押し当て左図○部に⑤FRドアインナー上部から切り取ったボスを挿入しボスの穴をガイドに下穴(φ3.0)を開け④RRクォーターアウターを取り外し本穴(φ10.0)を開け⑪グロメット(白)を挿入する。
(左図参照)



⚠️ 注意

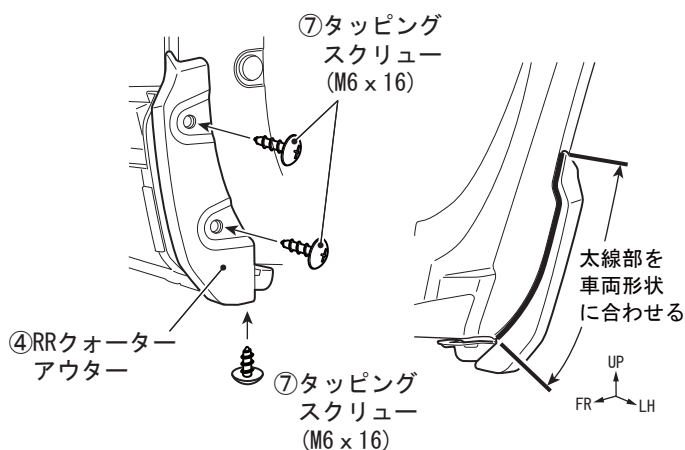
- ・ 穴開け作業の際は車両への傷つき防止の為ドリル先端から約10mmの位置にストッパーとなる様、ガムテープを巻いて下さい。貫通のおそれがありますので注意して下さい。



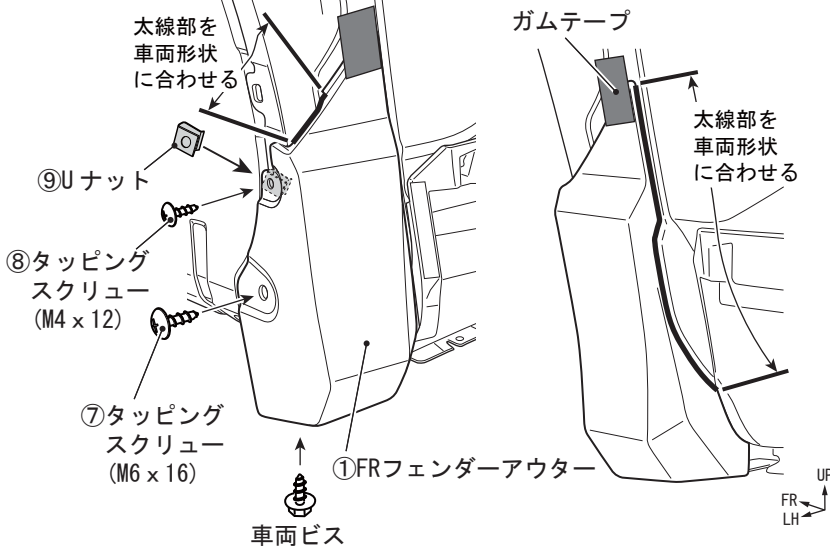
👉 アドバイス

- ・ φ3mm→φ6mm→φ10mmの順に開けますと、中心がズレにくくなります。

5. リヤオーバーフェンダーを車両に復元し、リヤオーバーフェンダーの形状に添わせて④RRクォーターアウターを被せ、下面を⑦タッピングスクリュー(M6×16)で仮締めし、左図の太線部を車両形状に合わせ、タイヤハウス面の2カ所を⑦タッピングスクリュー(M6×16)で仮締めする。(左図参照)



LH図示 ※RHも同様に

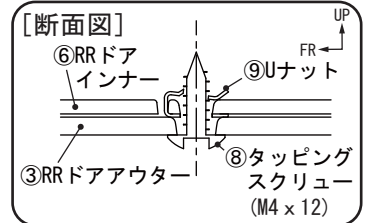
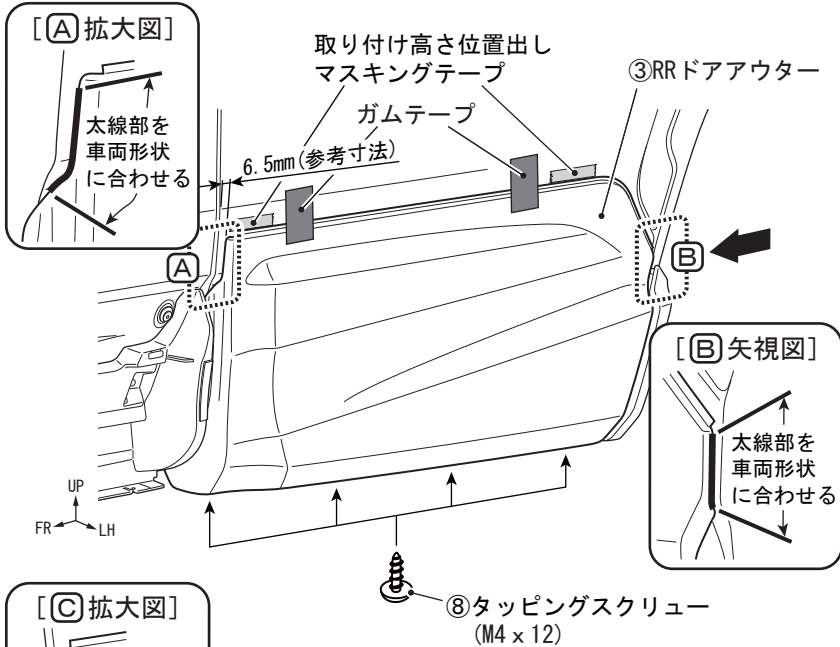


- ①FRフェンダーアウターを車両の形状に添わせて被せ、下面を車両ビスで仮締めする。
- 左図の太線部を車両形状に合わせて、タイヤハウス面の下側の穴を⑦タッピングスクリュー(M6×16)で仮締めし、ゴムテープ等で仮固定する。
上側の穴に合わせて⑨Uナットを車両に差し込み、⑨Uナットの穴中心で下穴を開ける。(左図参照)

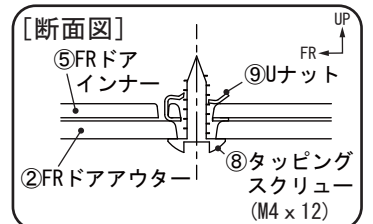
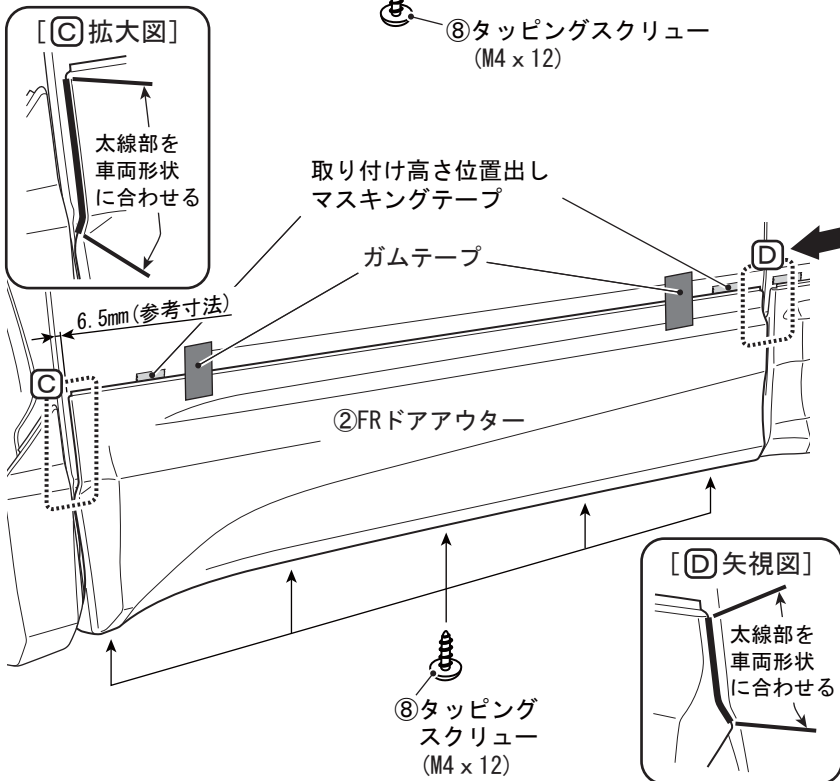
アドバイス

下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

- 左図の太線部が車両形状に合っていることを確認して⑧タッピングスクリュー(M4×12)で⑨Uナットに仮締めする。(左図参照)
- ③RRドアアウターを⑥RRドアインナーに被せ下面を⑥RRドアインナー下面に押し当てながら、⑨Uナットに⑧タッピングスクリュー(M4×12)で仮締めする。(4カ所)



車両RRドアにマークしたマスキングテープにモール上端を合わせ、左図の太線部を車両形状に合わせて、車両RRドア前方の段差面から③RRドアアウターの端末を6.5mm (参考寸法) に合わせ上部をゴムテープ等で仮固定する。(左図参照)

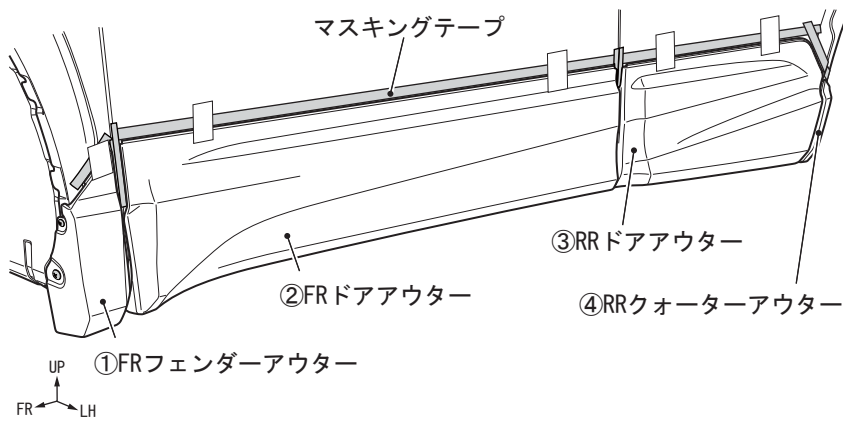


- ②FRドアアウターを⑤FRドアインナーに被せ下面を⑤FRドアインナー下面に押し当てながら、⑨Uナットに⑧タッピングスクリュー(M4×12)で仮締めする。(5カ所)

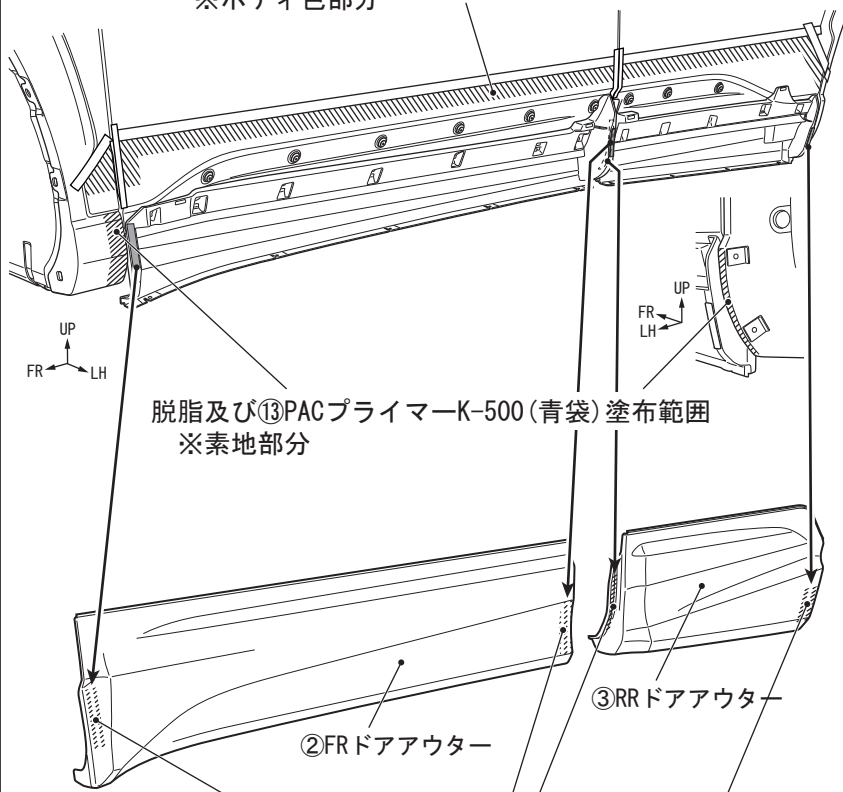
車両FRドアにマークしたマスキングテープにモール上端を合わせ、左図の太線部を車両形状に合わせて、車両FRドア前方の端末から②FRドアアウターの端末を6.5mm (参考寸法) に合わせ上部をゴムテープ等で仮固定する。(左図参照)

(4) 脱脂とプライマー塗布

LH図示 ※RHも同様に



脱脂及び⑫PACプライマーN-200 (赤袋) 塗布範囲
※ボディ色部分



脱脂及び⑬PACプライマーK-500 (青袋) 塗布範囲
※素地部分

脱脂及び⑬PACプライマーK-500 (青袋) 塗布範囲
※アウター裏面の両面テープ貼り付け部

1. ①FRフェンダーアウター、②FRドアアウター、③RRドアアウター、④RRクォーターアウターのモール上端及び各パネルの両面テープ貼り付け部の前後端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。(左図参照)

※各パネルの位置出しと脱脂及びプライマーがはみ出さない様にする為正確にマスキングテープを貼り付けて下さい。

2. ①FRフェンダーアウター、②FRドアアウター、③RRドアアウター、④RRクォーターアウターを取り外す。

3. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を一方方向に拭いて脱脂し、ボディ色部分(斜線)に⑫PACプライマーN-200、素地部分(十字線)に⑬PACプライマーK-500を塗布する。

4. ②FRドアアウター、③RRドアアウター裏面の両面テープ貼り付け部を脱脂し⑬PACプライマーK-500を塗布する。

アドバイス

- PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。
- PACプライマーは、必ず塗布部位によって使い分けてください。

■ 塗装部分 : N-200 (赤袋)

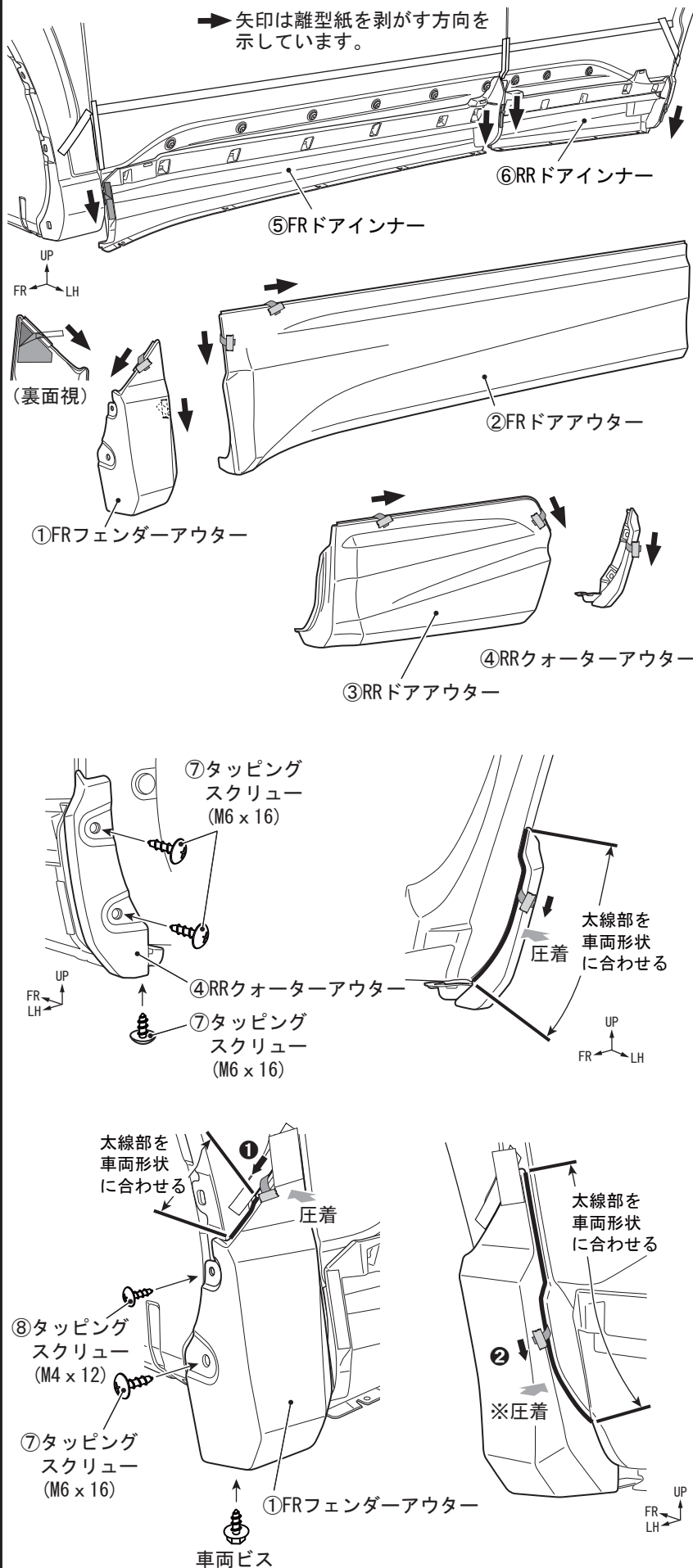
■ 素地部分 : K-500 (青袋)

- PACプライマーは再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。

(5) 取り付け

LH図示 ※RHも同様に

→ 矢印は離型紙を剥がす方向を示しています。



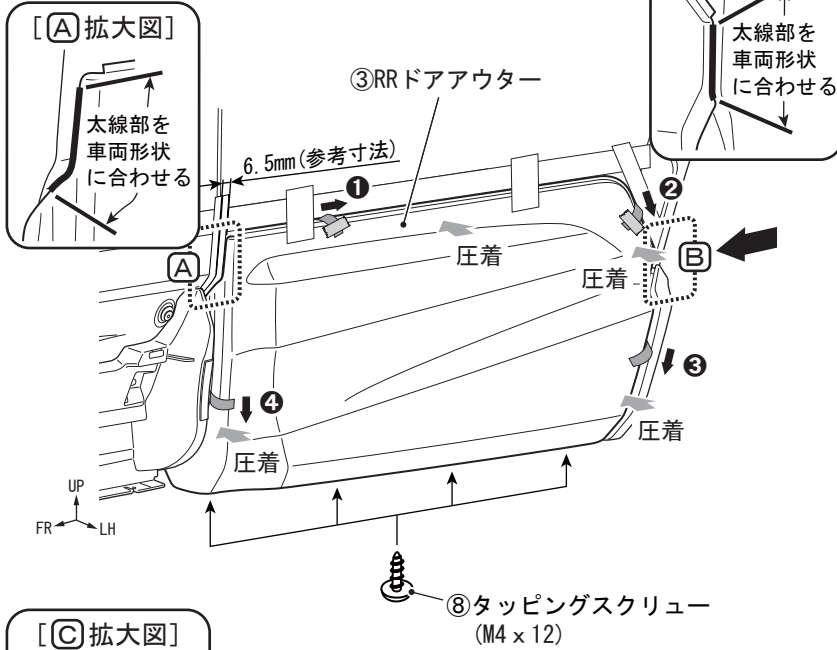
1. 車両に取り付けた⑤FRドアインナー、⑥RRドアインナーの両面テープ離型紙を一部剥がし表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(左図参照)

2. ①FRフェンダーアウター、②FRドアアウター、③RRドアアウター、④RRクォーターアウターの両面テープ離型紙を一部剥がし表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(左図参照)

3. ④RRクォーターアウターを仮組同様に車両に取り付ける。取り付け位置が変わらない様に、離型紙を矢印の方向に引き抜き圧着する。

4. ①FRフェンダーアウターを仮組同様に車両に取り付ける。取り付け位置が変わらない様に、離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き圧着する。

LH図示 ※RHも同様に

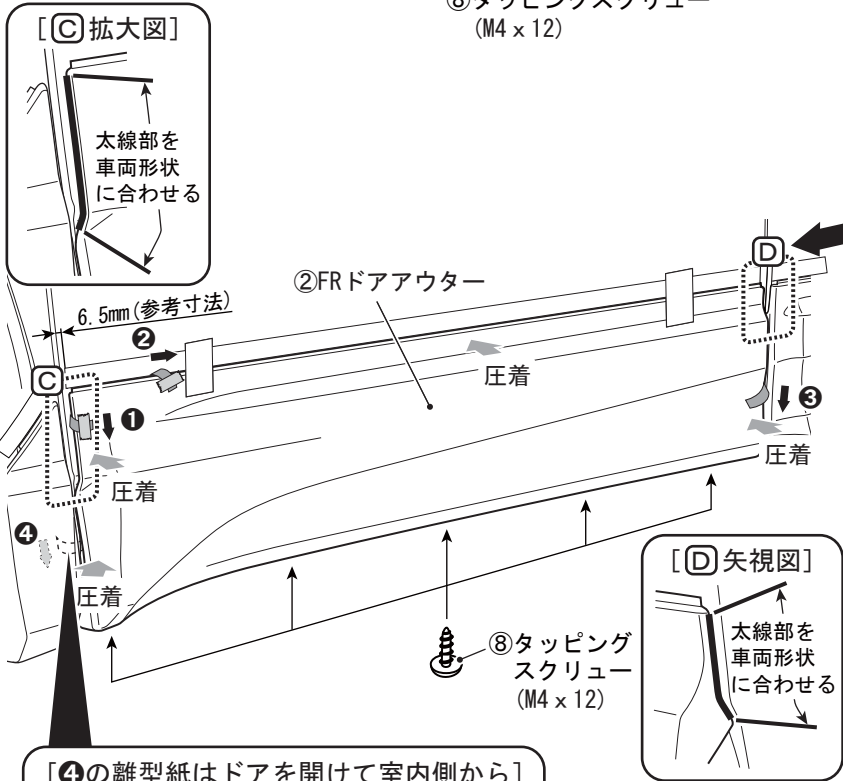


5. ③RRドアアウターを仮組同様に車両に取り付ける。
取り付け位置が変わらない様に、離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き圧着する。

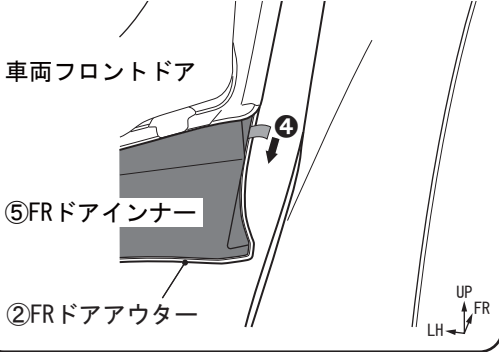
※③④の箇所はドアを開けて挟み込む様に両側から圧着してください。

6. ③RRドアアウターを仮組同様に車両に取り付ける。
取り付け位置が変わらない様に、離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き圧着する。

※③の箇所はドアを開けて挟み込む様に両側から圧着してください。
※④の離型紙はドアを開けて室内側から引き抜き、圧着して下さい。



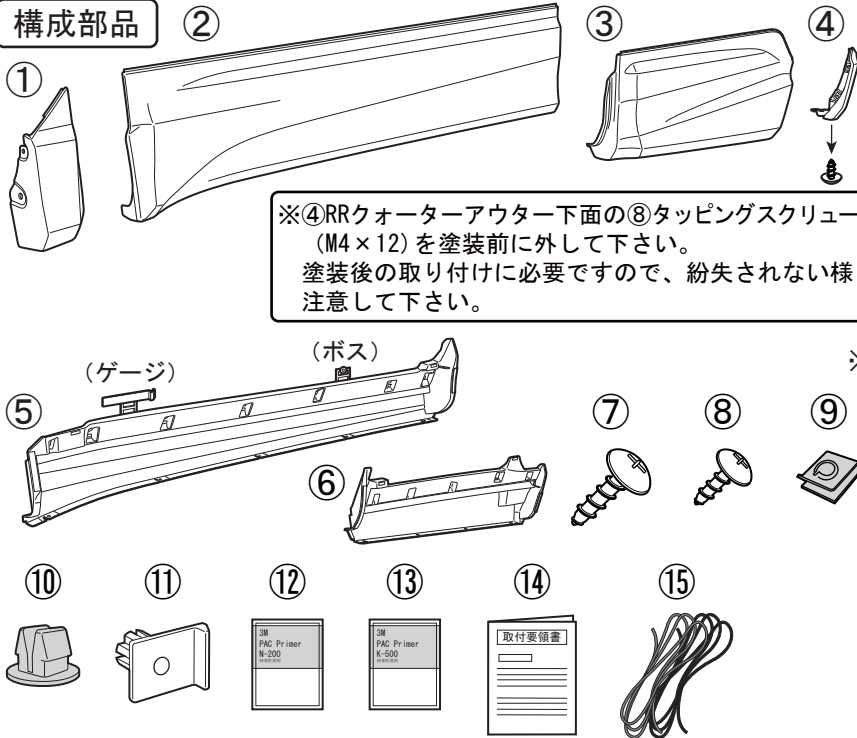
【④の離型紙はドアを開けて室内側から】



7. RH側も同様の手順にて取り付ける。
8. マスキングテープを全て剥がす。
9. 取り付けした両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
10. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。

サイドスカート素地品の塗装手順

構成部品



※④RRクォーターアウター下面の⑧タッピングスクリュー (M4×12) を塗装前に外して下さい。
塗装後の取り付けに必要ですので、紛失されない様注意して下さい。

| No. | 品名 | 個数 |
|-----|---------------------|-----------------|
| ① | FRフェンダーアウター (RH/LH) | 各1 |
| ② | FRドアアウター (RH/LH) | 各1 |
| ③ | RRドアアウター (RH/LH) | 各1 |
| ④ | RRクォーターアウター (RH/LH) | 各1 |
| ⑤ | FRドアインナー (RH/LH) | 各1 |
| ⑥ | RRドアインナー (RH/LH) | 各1 |
| ⑦ | タッピングスクリュー (M6×16) | 8 |
| ⑧ | タッピングスクリュー (M4×12) | 2 2 |
| ⑨ | Uナット (M4) | 2 0 |
| ⑩ | グロメット (黒) | 2 |
| ⑪ | グロメット (白) | 4 |
| ⑫ | PACプライマー (N-200) | 1 |
| ⑬ | PACプライマー (K-500) | 1 |
| ⑭ | 取付要領書 | 1 |
| ⑮ | エンドモール | グレー:2 ブラック:2 |

塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は>PP<です。

4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

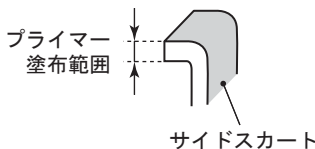
⑮エンドモール推奨使用色

| 色番号 | 色名称 | モール色 |
|-----|-------------------------|------|
| 089 | プラチナムホワイトパールマイカ | グレー |
| 1H5 | セメントグレーメタリック | グレー |
| 1L0 | シルバーメタリック | グレー |
| 1L6 | マッシュグレー | ブラック |
| 218 | アティチュードブラックマイカ | ブラック |
| 220 | スパークリングブラックパールクリスタルシャイン | ブラック |
| 3T3 | センシユアルレッドマイカ | ブラック |
| 4V8 | アバンギャルドブロンズメタリック | グレー |
| 8W7 | ダークブルーマイカメタリック | ブラック |

エンドモールの貼り付け作業とタッピングスクリューの取り付け

1. 塗装完了後、⑮エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑬PACプライマーK-500を塗布する。

PACプライマーK-500塗布範囲



アドバイス

- ⑬PACプライマーK-500はサイドスカートパネル取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑬PACプライマーK-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) 等で拭き取って下さい。
- ⑬PACプライマーK-500塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

2. 図の要領で⑮エンドモールを貼り付け、取り外した⑧タッピングスクリュー (M4×12) を取り付ける。

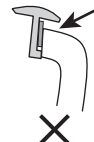
アドバイス

- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、十分に圧着して下さい。

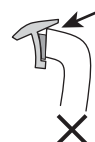
奥まで押し込む

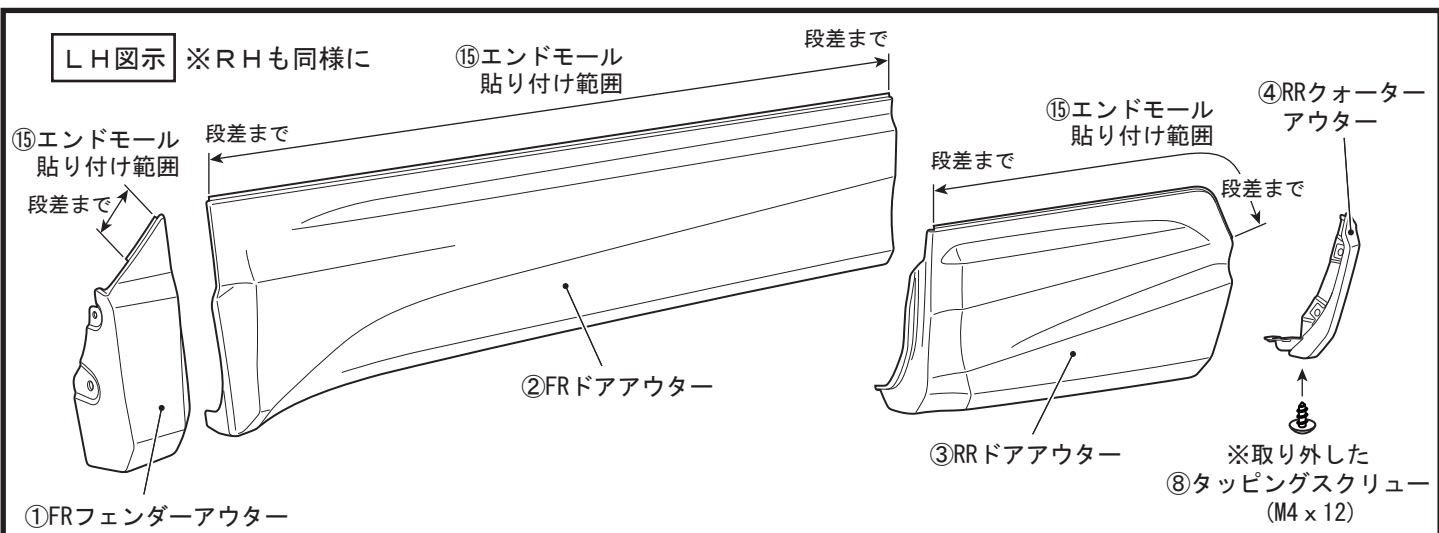


隙間が空いている



傾いている





補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してサイドスカートのリ取り付けを行なう際は下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。(元の位置と同様に貼り付けて下さい。)

